

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散又は統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	「第4次京都市男女共同参画計画」の重点分野である「DV対策の強化」や「真のワーク・ライフ・バランスの推進」など様々な事業を実施し, 京都市域全体における男女共同参画の推進を目指す。
財務面	京都市以外の自治体や大学, 企業からの受託事業の増加等により, 特定の収益に極端に依存しないバランスのとれた協会運営を目指す。
組織面	当協会の3つの基本姿勢である「支援」, 「育成」, 「提言」の下, 関係機関等と協働ができる人材を育成するとともに, 職員の資質や能力の向上及び組織風土の改善や活性化を目指す。
その他	特になし

3 基本の方針を実現するための具体的取組(2年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本の方針」を実現するための具体的取組を記載する。
 ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
 ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「男女共同参画の視点を持った相談員の養成」

取組内容	<p>あらゆる相談窓口に携わる人を対象に、ジェンダーの視点を持ち、個人の問題を社会の問題として捉えることのできる人材の養成を目指し、連続講座を実施する。また、講座修了生を対象に当協会でのインターンシップを実施し、ジェンダーの視点を持った相談員を確保し、京都市域の大学におけるハラスメント相談室等への相談員派遣事業に取り組む。</p> <p>【事業実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 相談員養成講座実施(目標:講座受講者50名) 平成28年度 ウィングス京都相談室でのインターンシップ受入れ (目標:インターンシップ参加人数4名) 平成29年度 市内大学ハラスメント相談室等への相談員派遣事業実施 (目標:相談員派遣人数2名) 					
○指標	相談員派遣人数					
採用理由	ジェンダーの視点を持った相談員の養成には当協会の専門性が必要である。					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位:名)
	—	—	0	0	2	
実現方法	<p>平成27年度の実施に向け関係協力機関との協議を重ね、講師選定やプログラム構築を行う。広報に関しては、京都市域の関連機関と近隣の男女共同参画センターへの周知を図る。講座修了生の中からインターンシップ希望者を募り、相談事例のロールプレイング等にて選定を行い、次年度からの10日間程度のインターンシップの実施につなげる。インターンシップ後は当協会相談室での一定期間の実務を経て、大学等への派遣事業に備える。</p>					

(2)財務に関する取組

目標「様々な機関からの受託事業等の充実による収益増加」

取組内容	京都市からの受託事業や補助金事業などの特定の収益に依存しない運営を目指し、自主事業だけでなく、京都市以外の団体からの受託事業、助成金への応募、寄付金の呼びかけなどにより収益増加を図る。					
○指標	京都市以外の機関からの受託事業金額・自主事業収入金額・助成金金額・寄付金金額					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：千円)
	29,000	29,926	30,000	32,000	32,000	

(3)組織に関する取組

目標「人材育成の強化」

取組内容	人材育成計画を策定し、計画に基づく多様な研修を実施することによって、関係機関等と協働ができる人材を育成する。					
○指標	人材育成計画に基づく人材育成研修の実施回数					
目標値	H26(目標)	H26(実績)	H27(目標)	H28	H29	(単位：回)
	—	人材育成 計画策定	10	10	8	